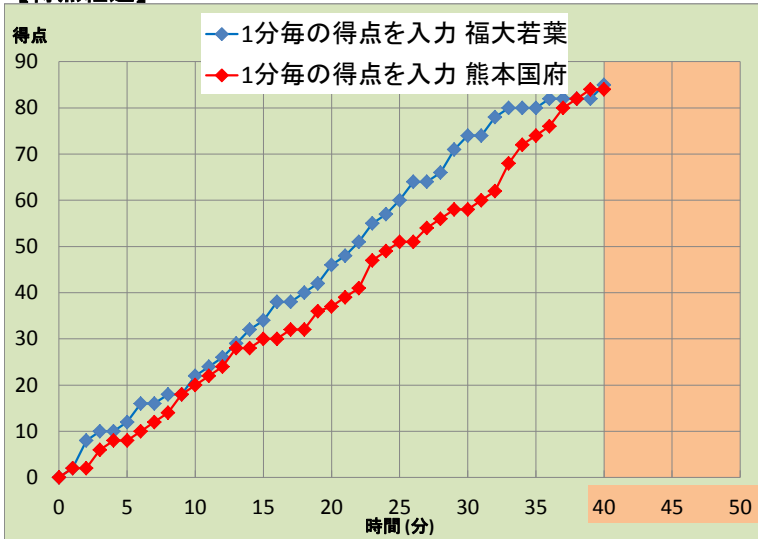


# 平成29年度 全九州高等学校体育大会 第70回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

## 【得点経過】



会場	福岡市民体育館	
日時	平成29年6月25日 (日) 9:00	
コート	Aコート	第1試合
カテゴリー	女子	準決勝
主審	川島 司	
第1副審	隈元 ゆみこ	
第2副審	山口 勝真	

TEAM A		TEAM B
福大若葉	85	84 熊本国府
福岡1位		熊本1位
○		●

22 1st 20

24 2nd 17

28 3rd 21

11 4th 26

OT

## 【BOXスコア】

TEAM A		福大若葉高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	三輪 眞子	6	2			2	
5	嘉数 唯	19	1	7	2	4	
6	中嶋 まひろ	0					
7	篠原 愛佳	15		7	1	3	
8	鬼塚 彩乃	24	2	8	2	4	
9	町田 鈴華	0				1	
10	木多良 菜々	0				2	
11	稲垣 結乃	0					
12	清水 美希	0					
13	中嶋 ゆめ	14	4	1			
14	白土 英恵	0					
15	曾我部 希子	7		2	3	5	
コーチ	池田 憲二						
合計		85	9	25	8	21	

TEAM B		熊本国府高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	松本 美月	10		5		2	
5	松村 愛	0					
6	井上 祐菜	10		4	2	3	
7	川端 日菜子	34		13	8	3	
8	安庭 希海	0					
9	後藤 友花	0					
10	久保下 真帆	24		7	10	4	
11	大村 未来	0					
12	小峰 祐奈	0					
13	鷹木 彩	0					
14	添田 梨裳	0					
15	原田 真尋	6		3			
コーチ	吉村 明						
合計		84	0	32	20	12	

## 【戦評】

全九州大会準決勝、福大若葉のスターティングメンバーは、#4、#5、#7、#8、#15、熊本国府は、#4、#6、#7、#10、#15で試合開始。第1P福大若葉ジャンプボールから速攻で先制、対する熊本国府は速攻からのジャンプシュートで応戦。ディフェンスは両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。福大若葉はアウトサイドの3Pで点数を重ねていき、ディフェンスを広げておきながらインサイド#15の1対1を随所に入れていく。熊本国府は#10のインサイドを起点にハーフコートオフェンスを展開していく。第1P残り3分46秒16-10で福大若葉がリード、熊本国府は1回目のタイムアウトで巻き返しを図ろうとする。直後#10のインターセプトから単独での速攻、#4のミドルシュートで点差を詰める。一進一退の攻防が続き、22-20で第1P終了。第2P福大若葉は開始直後からアウトサイドのシュートが決まり、リードを広げようと試みるが、中盤からシュートが落ち始める。熊本国府は#10を中心にボールを集め、#7のインサイドプレー、カットイン等で点数を重ねていく。第2Pは福大若葉がスティールからのブレイク等で試合を優位に進め、46-37福大若葉リードで前半終了。第3P熊本国府は得点を決めるとオールコートゾーンプレスに変更し、ゲームのリズムを変えようとするが、福大若葉のプレスアタックが功を奏しペイント内での得点を重ねていく。熊本国府は#7の個人技で応戦するが、福大若葉の#13#4の3Pが立て続けに決まり、熊本国府はたまたまずタイムアウト。熊本国府はボールマンプレッシャーのかけ方を変え、福大若葉は得点が停滞。しかし、終盤福大若葉は#13の3Pをきっかけに得点のペースを上げ、74-58で福大若葉リードで第3P終了。第4P福大若葉は#5のミドルシュート、1対1が冴えわたり得点を重ねていき、対する熊本国府は#6#7のカットインプレーで対抗する。福大若葉#15が5ファールで退場し、流れが熊本国府にいき、第3P16点あった差が残り5分で6点差、福大若葉のタイムアウト。しかし、熊本国府の勢いは止まらず、アウトサイド陣の鋭いドライブからの#10への合わせ、オフェンスリバウンドで優位に立つ熊本国府が残り2分で同点に追いつく。1分25秒で熊本国府#7の素晴らしいアシストで逆転。福大若葉残り40秒#13の3Pで逆転。熊本国府タイムアウトを取るが、ミスでシュートまでいくことができず、福大若葉がボールを支配し85-84で福大若葉が勝利。最初から最後まで集中して素晴らしいプレーをした両チームの選手を称えたい。

【戦評記者】 貞包 謙  
福岡県バスケットボール協会